

レジ袋削減推進に係るひょうご活動指針



私たちは、限りある地球の資源を利便性のために浪費し、便利で快適な社会を実現した一方で、ごみの増大、地球温暖化、生態系破壊など、地球環境の悪化を招いています。

美しい地球環境を将来に引き継ぐためには、「もったいない」という日本人の美德を活かし、県民一人ひとりが毎日の生活の中で、環境に配慮した行動を心がけることが必要です。

レジ袋の削減は、県民の誰もが簡単にできる環境に配慮した行動のひとつであり、また、ライフスタイルの見直しのきっかけとなります。

そこで、ひょうごレジ袋削減推進会議は、県民・事業者・行政の参画と協働のもと、全県的にレジ袋の削減を推進することとし、次のように取り組みます。

- 1 兵庫県連合婦人会、兵庫県消費者団体連絡協議会、神戸市婦人団体協議会及び神戸市消費者協会は、他団体・県民とともに、事業者・行政が実施するレジ袋削減対策に協力し、マイバッグの持参に努めます。
- 2 生活協同組合コープこうべ、日本チェーンストア協会関西支部、社団法人日本フランチャイズチェーン協会及び兵庫県百貨店協会は、県民の理解を求めながら、レジ袋削減を進めるための積極的な対策を各社で実施します。
- 3 兵庫県は、市町・小売団体等と広範に連携して、県民・事業者への積極的な広報活動や環境学習・教育を行い、レジ袋削減についての理解と協力が得られるよう普及啓発に努めます。

以上の取組を通じて、本推進会議は2006年度に比べて、2010年度の兵庫県内のレジ袋使用枚数を2億3千万枚削減(削減率25%)することを目標とします。

平成20年1月29日

ひょうごレジ袋削減推進会議

会長 鈴木 胖